

## 平成25年度越谷市自治基本条例推進会議 第3回会議 ワークショップ結果【B班】

### 〔地域コミュニティ組織・市民活動団体との協働と活動への支援について〕

- 自治会活動とコミ協活動は円滑に行われていると思う。連携も取れていると思う。
- 自治会・コミ協は、伝統的な行事を中心に活動しているようだ。
- コミ協等の活動は、活発に行っているつもりでも、何をしているか一般の認知がない。
- 活動している人は、年配者が多い。
  
- 若い人を取り込むための工夫が必要。
  - ・活動日の工夫が必要(活動日を平日昼以外に設定するなど)
  - ・近所付き合いが良くなれば、自治会等に入る人も多くなる。  
(地域の繋がりが希薄になっている。)
  - ・イベントを中心に興味を持ってもらう。  
(バーベキューやおまつり等、娯楽性の高いイベントを開催する)
  
- 市民活動団体の活用と連携を！
- 地域での取り組みとして、例年どおりの取り組み以外に新しい取り組み(イベント等)も行うとよいのでは。

### 市が支援できること

- 団体の情報を収集し、わかりやすく提供する。
  - 市民が広く情報を知ることができれば、各団体の活動がより活性化するのでは。
- 商店街の活性化を図り、若い人を呼び寄せる。
  - 商店街等、地域で若い人の雇用の創出を図る取り組みをすれば、若い人が地域の活動に参加するようになるのでは。
- 市でのイベント提供
  - 市民活動支援センターを活用したイベント等を企画する。
- 若者にとって、地域で活動することはどんなメリットがあるかを知ることが必要。若者を対象に調査する。
  - 報酬を設定するなど、より多くの人に調査に協力してもらえるような工夫をするとよいのでは。